

★「BOYS IN LOVE / 恋する男たち 内藤ルネ ～人はそれを薔薇族と呼んだ～」を開催★

1950年～1960年代にかけて「カワイイ文化の祖」と言われ、マルチクリエイターとして大ブレイクしていた内藤ルネですが、その一方でルネは世間から求められていたパーソナルとは違う自分の心の奥底に存在する自身の「性的マイノリティとしての感性」を表現する場所を探し求めていたようです。

そんな時に依頼されたのがゲイ雑誌『薔薇族』の表紙画であり、1984年から1998年の14年間に渡り描き続けました。表紙画に対しては「健康的な明るさとセクシーさ」を意識した画を「自分が描きたいものを描けるのは嬉しいものです」との思いで描き続け、大変大きな反響を呼びました。

ルネは『薔薇族』の表紙作品を描く傍ら、ゲイであった自身の心模様を表現するような非常に様々な男性画を多く残しています。同じ思いを抱きながら生きる人々の気持ちに寄り添うようにも感じ取れる、メッセージ性の強い作品も数多く見受けられます。現在、世界的にも、LGBTQや、SDGsは、大変重要な社会テーマとして着目されています。ルネは早くから性的マイノリティに対する差別的な考えに対し、生涯をかけて描き続けた作品を通じて「夢みることを忘れない生活」を送ることの大切さをメッセージとして発信し続けていました。

今回、そんな思いに共感いただき、「OR (オア：三井不動産『宮下パーク』)」と人気キュレーター米原康正氏によるアートプロジェクト、「OR TWELVE ARTISTS×OTAQUEST+DA.YO.NE (ダヨネ)」として開催されるイベントに内藤ルネの描いた複数の男性画を客演として初めて展示・スポットをあてていただきました。次回は3月24日(木)～27日(日)に渋谷の@TRUNK (HOTEL) で開催予定です。



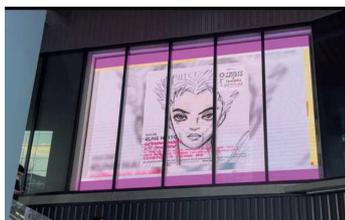
【開催概要】  
会期：2022年2月11日(祝・金)～18日(金)  
会場：OR MIYASHITA PARK 1F / 3F  
時間：11:00～21:00



1FのPOP UP SHOPでは原画を展示。



会場ではシルクスクリーンの販売も行っています。



左・期間中はOR 3Fに設置されたアイランドモニターでスペシャルムービーを公開中。

右・初日のオープニングパーティ也大盛況となりました。



【米原 康正 / YASUMASA YONEHARA】  
東京ストリートな女子文化から影響を受けたその作品は、雑誌などメディアの形をして表現されることが多く、90年代以降の女子アンダーグラウンドカルチャーの扇動者でもある。編集者、アーティスト、キュレーターなどさまざまな顔を持ち、1月28日発売のNumero TOKYOでは米原康正の活動が30ページで特集された。中国のSNS、ウェイボで280万人のフォロワーを持つ。

♥ルネ 生誕90周年 POP UP SHOP 第2弾♥

2022年、ルネのアニバーサリーイヤーの第2弾として阪神梅田本店にてPOP UP SHOPを開催致します。キャンバスアート、アルミアート、そして昭和レトロを彷彿とさせる雑貨の新品や人気のグッズの数々を展示販売致します。関西エリアでの久しぶりの開催で、SNSでも「待っていました！」など嬉しいコメントを多数いただいています。ルネ・ワールドをこの機会に是非お楽しみ下さい！

【開催概要】 場所：阪神梅田百貨店 8階アート&カルチャー ハローカルチャー4  
会期：2022年2月16日(水)～2月22日(火)

